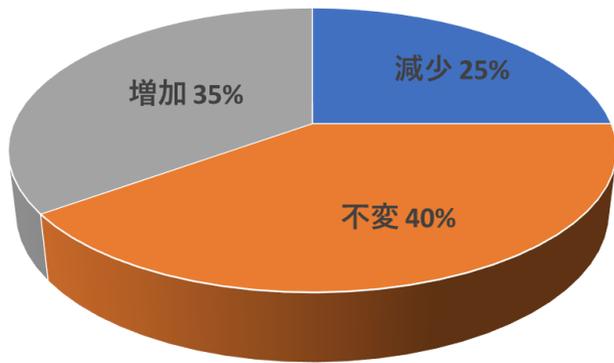


令和6年度景況調査

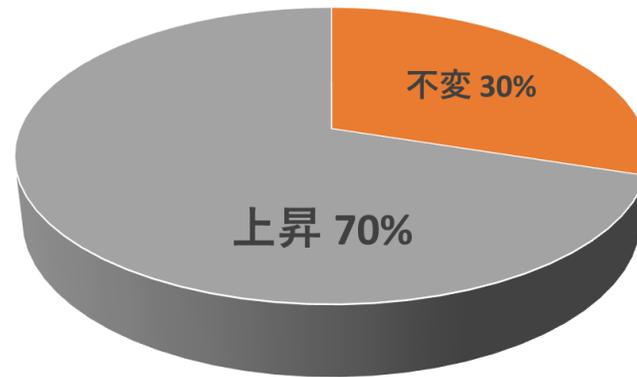
第三四半期(10月～12月)

①調査結果（その1）

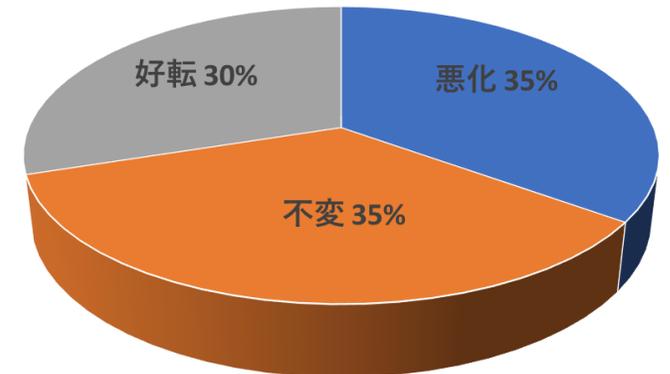
売上高の状況（前年同期比）



仕入単価の状況（前年同期比）

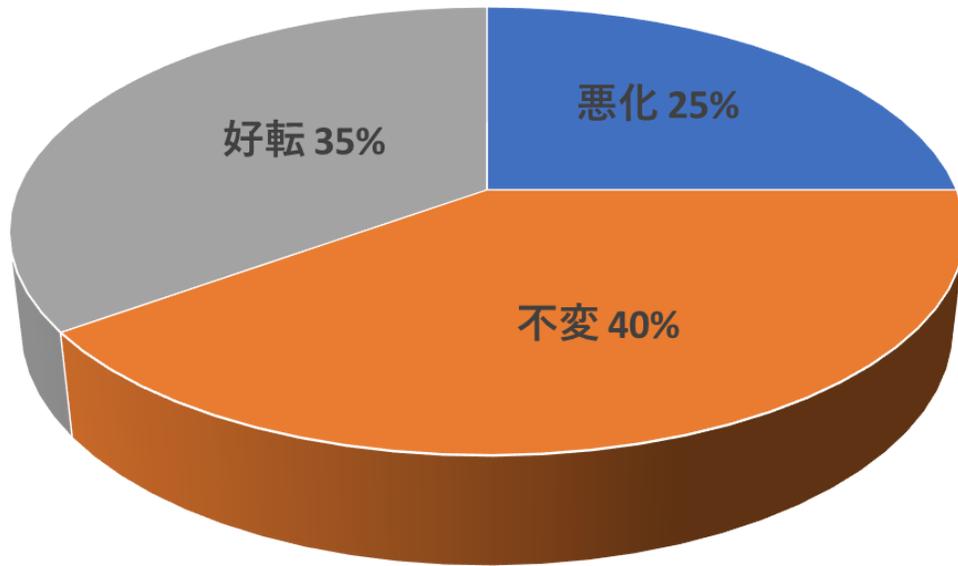


前年比経常利益の状況

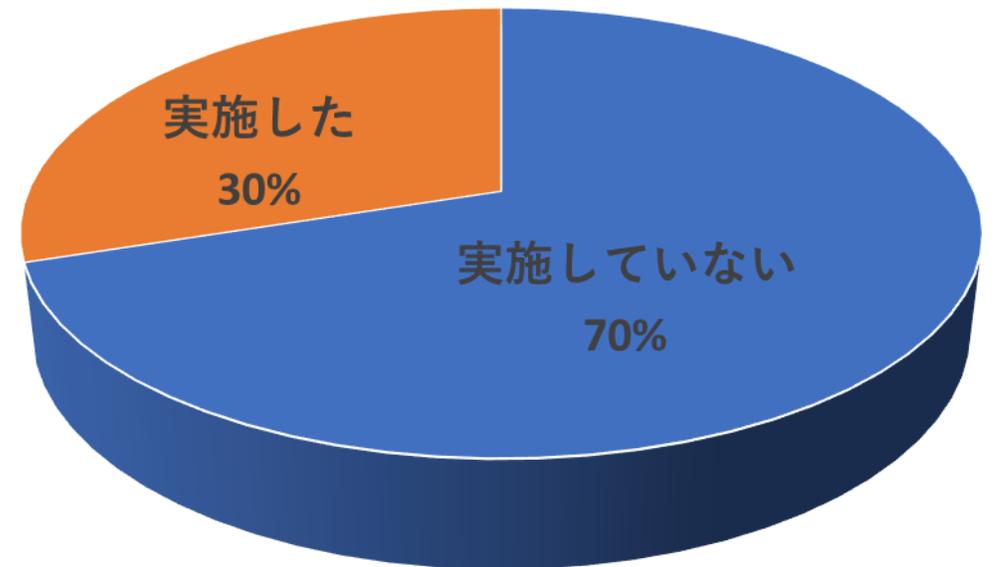


①調査結果（その2）

自社業況（前年比）



設備投資の実施状況



②分析結果

売上高は、調査対象事業所20社のうち35%（7社）が前年同時期と比較して増加、25%（5社）が減少しており、昨年の第三四半期とほぼ同じ結果となりました。

売上が伸びる一方で、70%の事業所で仕入単価の上昇が続いており、その他30%の事業所も昨年まで上昇した単価のまま推移しています。この影響もあり経常利益が好転した事業所は全体の30%に留まりました。

設備投資については、30%（6件）が今期で実施したと回答しており、第一四半期から徐々に設備投資を行う事業所数は増加傾向にあります。商工会はこうした状況を踏まえながら、国や県、町の支援施策を有効に活用し、経営課題の解決に努めてまいります。